

|            |   |         |                          |
|------------|---|---------|--------------------------|
| コ ー ス      | 病理学 (General Pathology)   |         |                          |
| 学年・期・単位    | 第3学年・前期・1単位   | 科目担当責任者 | 槻木 恵一 (顎顔面診断科学講座病理学分野教授) |
| オフィスアワー    | 毎週火曜日17:00～ (第2研究棟5階病理学分野研究室)   | メールアドレス | ksukino@kdcnet.ac.jp     |
| 一般目標 (GIO) | 病変の原因、発生機構、経過および転帰などの科学的理論を形態と機能の両面から習得し、病変の基本メカニズムへの理解を深める。特に、先天異常、退行性病変、進行性病変、循環障害、炎症およびアレルギー、感染症に関する病理学を修得し、一般病理学について理解を深める。 |         |                          |

| 講義ユニット      | 一般目標 (GIO)   |
|-------------|--|
| 1. 病理学概論    | 病理学を学ぶ意義、異なる原因による病変の分類、臨床歯科医学との関連を理解する。                |
| 2. 循環障害     | 体液循環動態に生じる種々の病的状態の肉眼的・組織学的変化およびその転帰を理解する。              |
| 3. 退行性病変    | 傷害刺激によって受動的に生じる生体側の機能的・形態的な病的変化について、肉眼的および組織学的変化を理解する。 |
| 4. 進行性病変    | 傷害刺激によって能動的に生じる生体側の機能的・形態的な病的変化について、肉眼的および組織学的変化を理解する。 |
| 5. 炎症       | 生体の防御反応である炎症に関する基本的概念について修得する。                         |
| 6. 免疫異常     | 生体の防御反応である免疫に関する基本的概念および免疫の過剰反応によって生じるアレルギーについて修得する。   |
| 7. 感染症・先天異常 | 感染による生体反応の機序を理解する。先天異常の発生原因および形態的变化を理解する。              |

| 教科書         |        |      |
|-------------|--------|------|
| 書名          | 著者名等   | 発行所  |
| A スタンダード病理学 | 槻木恵一 他 | 学建書院 |

| 評価法 (EV)   |
|--|
| 病理学講義は中間試験 (25%) と本試験 (75%) の配分とし合計60%以上を取得したのに対して単位認定 (合格) とする。 |

| 授業計画 |      |                 |  |                                       |                         |   |
|------|------|-----------------|--|---------------------------------------|-------------------------|---|
| 回    | 日付   | ユニット            | 行動目標 (SBOs)  | 学習方略 (LS)                             | 授業担当者                   | コアカリ/国試出題基準   |
| 1    | 4/1  | 病理学概論           | 1. 病理学の歴史を説明できる。<br>2. 病理学の意義を説明できる。<br>3. 病理学の臨床医学との関連においてその意義を説明できる。<br>4. 疾病の自然経過について説明できる。                                     | A 主要部分を板書により解説する。P2                   | 槻木恵一                    | C-1<br>必14-A-a<br>総-(IV)-1・10                             |
| 2    | 4/12 | 循環障害            | 1. 各種血行障害の定義および発症機序について説明できる。<br>2. 各種血行障害を分類し、説明できる。  | A 主要部分をパワーポイントにより解説する。P74-P101        | 槻木恵一                    | D-4-3)  |
| 3    | 4/19 |                 | 1. 側副循環について例をあげて説明できる。<br>2. 血栓症の成り立ちを理解し説明できる。  |                                       | 槻木恵一                    |   |
| 4    | 4/26 |                 | 1. 塞栓症の形成機序と転帰を説明できる。<br>2. 塞栓症を栓子の種類により分類できる。   |                                       | 槻木恵一                    | 必14-A-h<br>総-(IV)-4                                       |
| 5    | 5/10 |                 | 1. 梗塞を理解し、例をあげ説明できる。<br>2. 浮腫の成因を説明できる。  |                                       | 槻木恵一<br>堀真由美<br>(非常勤講師) |   |
| 6    | 5/17 | 退行性病変           | 1. 変性の定義について説明できる。<br>2. 変性を分類できる。<br>3. 萎縮の定義について説明できる。<br>4. 萎縮を分類できる。   | A 主要部分を板書により解説する。P14-P41              | 佐藤一芳<br>(客員教授)・<br>槻木恵一 | D-4-1)  |
| 7    | 5/24 |                 | 1. 壊死の定義について説明できる。<br>2. 壊死を分類できる。<br>3. 壊死の転帰について説明できる。<br>4. アポトーシスについて説明できる。  |                                       |                         | 必14-A- c・j・k<br>総-(IV)-2                                  |
| 8    | 5/31 | 進行性病変           | 1. 肥大と過形成の定義について説明できる。<br>2. 仮性肥大について説明できる。<br>3. 肥大を分類できる。<br>4. 肉芽組織の定義について説明できる。<br>5. 肉芽組織の形成機序について説明できる。<br>6. 創傷治癒について説明できる。 | A 主要部分を板書により解説する。P42-P63              | 佐藤一芳<br>(客員教授)・<br>槻木恵一 | D-4-2)  |
| 9    | 6/7  |                 | 1. 器質化について説明できる。<br>2. 各種組織の再生力の違いについて説明できる。<br>3. 化生について説明できる。  |                                       |                         | 必14-A- 1<br>総-(IV)-3                                      |
| 10   | 6/14 | 炎症              | 1. 炎症の経過を説明できる。<br>2. 炎症細胞の役割を説明できる。   | A 主要部分を板書により解説する。P110-P141            | 佐藤一芳<br>(客員教授)・<br>槻木恵一 | D-4-4)  |
| 11   | 6/21 |                 | 1. 炎症を分類できる。<br>2. 各種炎症の病理学的定義を説明できる。  |                                       |                         | 必14-A- d・i<br>総-(IV)-5                                    |
| 12   | 6/28 |                 | 1. 急性炎症の5徴候をあげ、説明できる。<br>2. 急性炎症と慢性炎症の病理学的違いを説明できる。<br>3. 肉芽腫性炎の種類と病理学的特徴を述べることができる。   |                                       |                         |   |
| 13   | 7/5  | 免疫異常            | 1. 免疫機構の基本的知識を持ち、過敏症について説明できる。<br>2. 過敏症を分類し、その代表的な病変の特徴を説明できる。  | A 主要部分を板書により解説する。P160-P1187           | 佐藤一芳<br>(客員教授)・<br>槻木恵一 | D-3-2)- ⑤⑥  |
| 14   | 7/12 |                 | 1. 自己免疫疾患をあげ、その特徴および発症機序を述べることができる。<br>2. 炎症と免疫の違いを説明できる。  |                                       |                         | 総-(IV)-6  |
| 15   | 7/19 | 天 感 染 症 ・ 先 異 常 | 1. 感染症による宿主の一般的反応を説明できる。<br>2. 感染症発症における個体差を説明できる。<br>3. 先天異常の原因と分類ができる。<br>4. 遺伝性疾患について具体的な例をあげることができる。<br>5. 染色体異常について説明できる。     | A 主要部分を板書により解説する。P142-P159, P216-P233 | 槻木恵一<br>三代代志子           | D-3-1)、D-2-2)、<br>F-2-3)- ①~③<br>必14-A-b・e、<br>総-(IV)-1・6 |